

授業科目(ナンバリング)	球技 B(CC204)			担当教員	※大山 泰史		
展開方法	実技	単位数	1 単位	開講年次・時期	2 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
バスケットボールの基本技能（パス・ドリブル・ショット）を習得し、得られた技能をゲームで発揮できるようにする。また、バスケットボールに関する知識やルール、ディフェンスの概念を理解し、バスケットボールの初歩的な指導ができるようにする。							①
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	ルールを説明できる。 基本姿勢、ショット、パス、ドリブルを実践できる。 スキルや戦術戦略を説明できる。 ゲームを楽しむことができる。				授業態度・授業への参加度 スキルテスト ルールテスト	50%	
情報収集、分析力	自らの課題を発見し、改善する方法を選択できる。 チームの課題を発見し、改善する方法を選択できる。				授業態度・授業への参加度	10%	
コミュニケーション力	チーム内でのパスやディフェンス等で声、アイコンタクト、ジェスチャー等を使うことができる。 相手チームを尊重してゲームを楽しむことができる。				授業態度・授業への参加度	10%	
協働・課題解決力	チームで協調してプレーすることができる。 チーム分けやグルーピングを素早く協調して実行できる。				授業態度・授業への参加度	20%	
多様性理解力	参加者のスキル、体格などに応じてそれぞれがバスケットボールを楽しむことができる。				授業態度・授業への参加度	10%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
授業態度（授業に対する積極性や貢献度、参加状況、安全に対する配慮）を基本とし、総合的に評価する。また、スキルテストや課題などのフィードバックを授業で行う。							
授業の概要							
バスケットボールは、「走・跳・投」といった様々な動作を含み、瞬発力や持久力など多くの能力を必要とする非常にバランスの良いスポーツです。年齢や性別を問わず多くの人々が参加できることから世界で最も多くの国と地域が国際連盟に加盟している人気競技でもあります。本授業では、バスケットボールの個人技術及びチーム戦術を身に付けることを通して、味方とのコミュニケーションや相手との駆け引きを楽しむ事ができるようになることを目標としています。授業は、前半を技術及び戦術戦略の習得とし、後半を授業での成果をゲームに反映できるようにします。バスケットボールのルールやスキルを理解し、実際のゲームで実践し、将来的には授業が展開できるように指導します。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分です。							
教科書・参考書							
教科書：なし 参考書、指定図書：バスケットボール指導教本改訂版上巻、下巻（大修館書店）							
授業外における学修及び学生に期待すること							
運動に適した服装（Tシャツ、ジャージ等）と室内専用シューズを着用してください。 授業当日、ウエアやシューズを忘れた場合は、怪我防止のため見学とします。 安全のため、時計、アクセサリ等は外して受講して下さい。 体調管理をして授業に臨み、体調に違和感を覚えた場合や怪我が発生した場合は、すみやかに申し出て下さい。 技術レベルは問いませんが、バスケットボールに興味を持っており、積極的に授業に参加できる学生を望みます。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	ガイダンス	本授業の内容と注意、授業の進め方などを説明する。	シラバスを熟読し、体調管理を徹底する。
2	コーディネーショントレーニング スキル&ルールテスト	バスケットボールにおけるコーディネーショントレーニングを体験する。 スキルやルールの理解力や実践力を確認する。	体調管理及び運動のできる準備をし、授業後に各自で実践する。
3	ジャンプショット	ショットがまっすぐ飛ばせるようにする。	体調管理及び運動のできる準備をし、反復練習を行う。
4	ランニングショット	ランニングショットを習得する。	体調管理及び運動のできる準備をし、反復練習を行う。
5	基本姿勢（トリプルレット、ドリブル、パス）	基本姿勢を習得し、正確なパスやドリブルができるようにする。	体調管理及び運動のできる準備をし、反復練習を行う。
6	基本姿勢（トリプルレット、ドライブ、パス、ピボット）	リングに対してドライブができるようにし、ドライブからのパスも習得する。	体調管理及び運動のできる準備をし、反復練習を行う。
7	ディフェンスの考え方、基本姿勢	ディフェンスの概念を理解し、姿勢やポジショニングを習得する。	体調管理及び運動のできる準備をし、反復練習を行う。
8	数的優位な場面でのオフense	オフenseが有利な状況での攻防を理解し、実践する。	数的優位な状況をノートに記録し、理解する。
9	同数でのオフense	同数での攻防を理解し、実践する。	基本戦術をノートに記録し、理解する。
10	ハーフコートオフense	ハーフコートオフenseを理解し、実践する。	試合の中で攻撃と守備の基本戦術について学習する。
11	3×3	3×3のゲームを体験する。	3×3のルールを予習してくる。 ゲームの振り返りを記録する。
12	オールコートオフense（ボール運び）	オールコートでのオフense（ボールの運び方）を理解し、実践する。	オールコートでのボール運びをノートに記録し、理解する。
13	トランジションゲーム（攻防の切り替え）	オフenseとディフェンスのトランジションがある状況でのゲームを体験する	試合の中で攻撃と守備の基本戦術について学習する
14	スキル&ルールテス	これまで習得したスキルやルールの理解力や実践力を確認する。	授業内で起きた状況をノートに記録する。
15	ゲーム大会	ゲームの中での実践を披露する。	これまで身に着けた内容を詳細に記録する。